

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年10月16日 (2014.10.16)

【公開番号】特開2012-64216(P2012-64216A)

【公開日】平成24年3月29日 (2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-013

【出願番号】特願2011-202404(P2011-202404)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/60 (2006.01)

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/60 2 0 0 Z

G 0 6 T 7/00 2 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月3日 (2014.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原始要素および関係を含む複数のデータグラフをクラスタ化する方法であって、

関連するサブグラフのグラフを含むグラフラティスを生成することを含み、次数 1 のサブグラフは前記原始要素であり、次数  $i > 1$  の各サブグラフは次数  $i - 1$  のサブグラフと前記原始要素のうちの 1 つとを含み、前記グラフラティスは、ノードのラティスであり、各ノードは、画像原始要素および関係を表すサブグラフに対応し、かつ各グラフラティスノードは、前記グラフラティスノードが対応する前記サブグラフの記述的情報を提供するように構成され、

前記複数のデータグラフに対する特徴ベクトルを生成するために前記グラフラティスを使用することを含み、

前記生成された特徴ベクトルの間の類似性に従って前記複数のデータグラフをクラスタ化することを含み、

前記方法は、少なくとも 1 つのデジタルプロセッサを用いて実行され、

ストラットは、レベル  $N$  の親グラフラティスノード、原始要素、及び、前記親グラフラティスノードの境界にリンクされた前記原始要素に加えて前記親グラフラティスノードからなる前記サブグラフであるレベル  $N+1$  の子グラフラティスノードからなる

複数のデータグラフをクラスタ化する方法。

【請求項 2】

前記特徴ベクトルが接合点規格化マッピングカウントを用いて決定される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

接合点規格化マッピングカウントが、接合点マッピングカウントにより再重み付けされたサブグラフ・マッチング・カウントである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記生成された特徴ベクトルの間の前記類似性が共通マイナス差尺度を用いて決定される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

共通マイナス差尺度が絶対値を要素ごとに比較する、請求項 1 に記載の方法。